

平成21年度

大会要項

東京都高等学校体育連盟バドミントン専門部

E-mail: mail@tokyo_hsbad.com

http://www.tokyo_hsbad.com

事務局FAX: 03-5668-2779

学校番号		男女の別	学 校 名
ブロック	番号		

総会・代表者会議・大会等において、この冊子を持参すること

目 次

ページ

平成21年度 都高体連バドミントン専門部の主催・主管する各種大会	2
大会運営上の注意	4
各大会における審判について	5
競技審判上の注意	6
年間行事予定表(一覧表)	9

ブロック別連絡責任者

	責任者	勤務先	所在地	学校電話	学校 FAX
A	辻村 保弘	都立東高校	〒136-0074 江東区東砂 7-19-24	03-3644-7176	03-3615-7463
B	桐田 知典	日本大学鶴ヶ丘	〒168-0063 杉並区和泉 2-26-12	03-3322-7521	03-3325-0203
C	石川 達也	都立つばさ総合高校	〒144-8533 大田区本羽田 3-11-5	03-5737-0151	03-5737-0154
D	桑原 淳	日本大学第三高校	〒194-0203 町田市図師町 11-2375	0427-93-2131	0427-93-2134

総務	勤務先	勤務先所在地	携帯電話	専門部 FAX
亀山 和由	関東第一高校	〒132-0031 江戸川区松島 2-10-1	090-8815-0048	03-5668-2779
中島 昭雄	文化女子大附杉並高校	〒166-0004 杉並区阿佐谷南 3-48-16	090-3964-8897	0422-42-4645

携帯電話に連絡の際、非通知は拒否しておりますのでご注意ください。

尚、校務中は電話に出られませんので、伝言をお願いします。

問い合わせは、電子メールでお願いいたします。 E-mail : mail@tokyo-hsbad.com

東京都高等学校体育連盟バドミントン専門部事務局 FAX:03-5668-2779

大会にあたって

団体記録及び、個人記録が全国高等学校体育連盟・東京都高等体育連盟・東京都高等学校体育連盟バドミントン専門部のホームページにて公開するために収集されることがあります。

収集された情報は、それぞれのホームページにて公開されます。

公開に関して、異議があるときは事前に申し出てください。

なお収集された情報に関しては、上記目的以外には使用致しません。

東京都高等学校体育連盟バドミントン専門部の主催・主管する各種大会

東京都高等学校体育連盟バドミントン春季大会兼関東大会東京都予選大会(団体)
東京都高等学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会東京都予選大会(個人)
東京都高等学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会東京都予選大会(団体)
東京都バドミントン選手権大会兼国民体育大会東京都選考会(個人・単)
東京都高等学校バドミントン新人戦 部兼関東高等学校選抜大会東京都予選大会(個人・複)
全日本ジュニア選手権大会東京都予選大会(個人)
東京都高等学校バドミントン新人戦 部兼関東高等学校選抜大会東京都予選大会(個人・単)
東京都高等学校バドミントン新人戦大会兼全国選抜東京都予選(団体)
東京都高等学校バドミントン新人戦 部大会(個人・単複)
各ブロック冬季バドミントン選手権大会

1. 各大会の主催・主管団体、開催期日、会場、種目

別表(高体連バドミントン専門部のホームページより大会要項をダウンロード)の通り。

2. 競技規則

(財)日本バドミントン協会競技規則ならびに大会運営規程による。

3. 競技方法

すべてトーナメント戦で行う。(但し、大会運営上一部リーグ戦とする場合もある)

団体戦は学校対抗とし、1対抗は2複・3単で行い、複1 複2 単1 単2 単3の順で行う。

単1以外の選手は、単と複を兼ねて1対抗2回まで出場できる。

1対抗はすべてマッチ(試合)先取で終了する。単、複いずれも3ゲームで行われ、2ゲーム先取で終了する。ただし、平行して行われたマッチ(試合)で勝敗が決定した場合は、残りのマッチは打ち切りとする。

なお、大会によっては2複1単(複1 単1 複2の順で行い、単複は兼ねられない)を1対抗とする場合もある。

4. 団体の編成

団体戦においては監督(顧問)、コーチ、マネージャー1名と選手5~10名によりチームを編成する。申し込み後のメンバー変更及び追加は、大会開催初日受付までは認める。

選手5名を欠いた場合はチームとして認めない。

なお、ベンチの入れる選手は、7名とする。

チーム編成については、全日制・定時制・通信制課程の混成は認められない。

部員不足等に伴う複数校による合同チームの大会参加を認める。(但し、都ブロック予選大会のみ)

5. 使用シャトル及びネット

平成21年度、(財)日本バドミントン協会検定合格の水鳥シャトル及びネットを使用する。

6. 参加資格

- (1)平成21年度の東京都高等学校体育連盟に加盟している高等学校の全日制課程・定時制・通信制課程および中等教育学校後期課程に在籍している生徒で、あらかじめ健康診断を受け、当該学校長が競技出場に支障が無いことを確認し、出場を承認した者。(尚、チーム編成において全日制

課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。)

また、(財)日本バドミントン協会まで会員登録(個人)が済んでいる者とする。

ただし、東京都バドミントン選手権(高校の部複)および新人戦 部大会は、東京都バドミントン協会までの登録でもよい。

(2) 年齢は平成2年(1990)4月2日以降に生まれた者とする。

ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。

尚、新人戦大会、新人 部大会は平成3年(1991)年4月2日以降に生まれた者とし、かつ1・2学年に在籍する者。さらに大会により人数を制限することがある。

新人 部大会の参加資格は、出場を申し込んで(別表 ~ の大会)も実際に試合に出場しなかった者。

(3) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。

ただし、一家転住などやむを得ない場合は、東京都高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りでない。

(4) 外国人留学生の参加資格について。

入学後、3ヵ年間の留学期間を予定している生徒を対象とする。

7. 参加費・申込用紙・申込期日・申込先・費用納入・表彰等については、専門部のホームページ参照。

8. プレーヤーの服装

競技時の服装は、相手又は観客に不快な感じを与えないようなウェア、シューズを着用すること。白一色の着衣を使用する場合は、上衣は衿付き半袖、下衣は男子ショートパンツ、女子ショートスカート又はショートパンツとする。色付き着衣を使用する場合及びシューズは、(財)日本バドミントン協会の審査合格品とする。

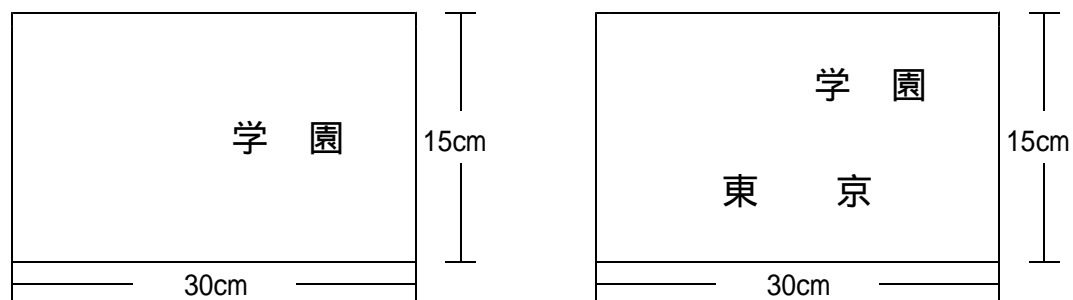
背中には、縦 15cm・横 30cm の範囲内に学校名を明記したマークをつける。

マークの文字は、漢字で、上衣に**鮮明に映えるもの**であること。(例、黄色い生地に白字は駄目)。

関東大会以上の大会に出場する場合は、学校の下に「東京」が入る。

*** プレーヤーはアクセサリ類および化粧をしてコートに入らないようにする。**

マーク例



9. 代表者会議

ブロック別の大会の場合は、ブロックごとに期日を定めて代表者会議を開催する。

10. 大会本部・事務局

東京都高体連バドミントン専門部の本部は、淑徳巣鴨中学高等学校内(関根忠先生)に置き、事務局は関東第一高等学校内(亀山和由先生)に置く。

大会運営上の注意

1. 受付

指定された時刻までに受付を完了し、直ちに試合のできる準備をする。
指定された時刻までに受付がなされていない時は、棄権として扱うことがある。

2. 引率・監督について

従来

- ・引率責任者は当該校の教員とする。
- ・監督については、学校長の認めた教職員とする。

当該校の教員：教諭、講師（専任、常勤で非常勤は対象外）
学校長の認めた教職員：副校長、教頭、教諭、養護教諭、助教諭、講師、非常勤嘱託員

改定

- ・引率責任者は、団体の場合校長の認める当該校の教員とする。
個人の場合は、校長の認める学校の職員とする。
- ・監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

当該校の職員：校長・副校長、教頭、教諭、養護教諭、助教諭、講師、非常勤嘱託員他学校教育法50条に準ずる。（非常勤嘱託員は地方公務員法 第3条に身分記載）

引率責任：法的責任、事故発生と賠償責任、生活指導

指導者の規定（次の2つとする）

- ・当該校の職員： に同じ。
- ・外部指導者：非常勤講師、スポーツクラブ指導者、社会体育指導者、当該校の卒業生・保護者者等で校長の認めた者とする。

但し、都立高校の場合には、現時点（平成21年4月1日）では従来の引率・監督で行う。

3. 試合開始時刻の変更

試合の進行が早まった場合には、（30分に限り）予定時刻よりも前から試合を開始することがあるので、連絡が取れるよう体勢を整えておくこと。

試合開始時刻になっても会場にいない場合は棄権として扱う。

4. 応援上の注意

バドミントン競技の本旨にもとづき、応援は定められた場所で声を出さずに拍手だけで行う。

違反した場合は、その応援者を退場させることがある。

拍手についても、ごく自然に行い、意識的な方法で相手を妨害したり、会場全体に不快の念をいだかせることのないようにする。

5. 会場利用上の注意

上履きは各自で用意し、下履きとの区別をはっきりさせる。

ゴミや空き缶、空きビン等は各自で持ち帰ること。
顧問、OB等の喫煙は定められたところ以外では禁止する。

6. 貴重品の管理

更衣室は更衣だけに利用し、荷物を放置しない。
特に貴重品は、各自が管理し盗難を防ぐ。
ラケットを間違えられたり、紛失することのないようにする。

各大会における審判について

1. 審判団の編成

各学校とも試合に出場する選手以外に3名以上(大会によっては4名以上)の審判団を編成し、大会当日用意する。
審判団の中に公認の審判検定合格者を含むようにしなければならない。

2. 審判の任務

審判団は規則・規定および審判心得を十分に理解し、公正な審判により、スムーズに試合をリードすることを心がける。主審はカウントを明確にコールし、き然たる態度で判定を行う。
線審は見やすい場所に位置し、シャトルの落下地点を正確に判定し、インとアウトの合図をしっかりと行う。アウトの場合は「アウト」とはっきりコールする。
疲労回復のためと思われる汗ふきなどのプレーの中断は、不正な遅延行為であるから認めてはならない。
また、インターバル以外では監督・コーチの忠告を受ける機会を与えてはならない。
応援団による妨害がある場合は注意を与え、試合の進行に支障のないようにする。

3. 敗者審判制

試合の審判は原則として敗者審判制にて行う。
これは試合に敗れたコートで行われる、次の試合の審判を行う制度である。
試合の遅延をさけるため、審判を行うことが決定した時点で直ちに行動できるよう準備しておく。
なお、次の試合が棄権等の場合は、その次の試合を担当することになる。
ただし、審判検定の実技試験が行われる場合は、審判の一部または全部が免除されることがある。

4. 第一試合の審判

当日の最初の試合は次のように行うことがある。

- 当日のタイムテーブルの2段目に組まれた学校により同じコートの試合の審判を行う。
- 当日の最初の試合に出場する学校で、別のコートの試合の審判を行う。
- あらかじめ決められた学校により最初の審判を行う。

以上のようにいくつかの方法があるので、プログラム等の注意や指示に従って集合時間など間違えないようにする。

5. その他

準々決勝あるいは準決勝または少数参加の予選会においては、参加校・参加選手によって互いに審判を行うことがある。

また、部員減少化の現状に対処するため、勝者にも審判を依頼することがある。

競技審判上の注意

全般的事項

1. 選手は試合開始予定の30分前までに会場に到着し、必ず「受付」を済ませてください。
2. 競技の進行を円滑に進めるために、「受付」「集合」等の時間厳守に努めてください。
3. 試合の進行状況に応じて、予定された試合開始の時刻やコートを変更することがあります。放送には十分注意をしてください。
4. 試合を連続して行う場合のインターバルは次の通りである。
 - < 学校対抗戦 > 学校対抗が連続する場合は15分とします。
2コート以上並行して試合を行い、同一選手が連続して試合をする場合は10分とします。
 - < 個人戦 > すべて15分とします。
5. インターバルは次の通りです。(競技規則書第16条第2項)
すべてのゲームの中に、一方のサイドのスコアが11点になったとき、60秒を超えないインターバル、第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認める。(選手は競技区域から出ない)
6. 個人戦単において、試合開始前の練習をする相手は1名まで競技場に入れるものとします。ただし、入場できるのは選手入場後から練習終了までとし、その後速やかに退場するものとする。
7. 試合(マッチ)中の選手の水分補給については必ず主審の許可を必要とします。また、以下のことに注意をしてください。
学校対抗戦おりは、ベンチ(ベンチ付近)での水分補給は認めません。尚、会場によっては、フロア内での水分補給が出来ない場合があります。その場合は競技委員長の指示に従ってください。容器は倒れてもこぼれないスクイーズボトルを使用し、主審横の指定した入れ物に入れてください。体力回復措置をはかっているとおぼしき行為を慎んでください。(氷嚢の使用はインターバル中のみとする)
8. サービスの遅延行為に関しての判定は主審が行います。1度目は注意、2度目はフォルトとします。
9. 主審が認めた以外は、プレーを中断することは一切認められません。
10. 次のような違反行為に対しては厳正に対処をします。(競技規則第16条)
息切れなど、体力回復等の遅延に関わる行為。

インターバル以外に指示や助言をすること。主審の許可なしにコートを離れること。

故意にシャトルに手を加えたり破損したりする行為。

審判員や観客に対して横柄な振る舞い、下品で無礼な態度、言動。

見苦しい着衣でプレーをする。

ラケットや身体でネットなどコート施設を叩いたり、耳障りなかけ声や奇声を発するなどの不品行な振る舞い。

- 11 . 競技中は、必ず高等学校名の入ったシャツを着用するか、ゼッケンを付けてください。
(背面の文字は明確に判断できるもの)
- 12 . 競技中の怪我や病気発生の際、コートに入ることが許されるのは、通常医師などのほか競技役員長・競技審判部長・競技審判副部長・そのほか競技役員に限られています。
- 13 . 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認めない。
もし判断に対し疑問がある場合には、次のサービスが為される前に「質問」をすることができます。ここで質問できる者とは、学校対抗戦においては当該選手と監督、個人戦では当該選手に限ります。
- 14 . 会場により「会場ルール」が設けられている場合があります。

個人戦に関する事項

- 1 . 競技場の開場は各競技場ごとで異なるので注意してください。
- 2 . 選手は係の指示に従ってください。(放送には十分注意をして聴いていてください。)
- 3 . 試合開始前の練習は、あいさつの後主審の指示に従って、同時に3分間とします。
(単の場合は、練習相手1名のコートインを認めますので事前に主審に申し出てください。)
尚、会場・試合進行上により練習が出来ない場合もあります。
- 4 . コートサイドにはベンチは設けませんが、会場の都合で設けない場合もあります。
- 5 . 勝敗が決定したら対戦相手とあいさつをする。

一般的な注意事項

- 1 . 競技場の開場は各競技場ごとで異なるので注意してください。
- 2 . 競技会場に到着したら、必ず「受付」を済ませてから入場をしてください。(IDカードを持参すること)
- 3 . 各競技場とも、係員の指示や会場表示に従って、**下足と上履きの区別**をきちんとしてください。
- 4 . 競技場(フロア)内での飲食を禁じます。但し、「競技審判上の注意、全般的事項10」に関わることのみ認めます。アイスボックス等、フロアに持ち込むことは禁止します。

5. 部旗・応援旗を使用する際には、競技に支障がないように配慮をしてください。
尚、競技や大会の運営に支障が生じると本部が判断したときは、取り外していただきます。
6. 応援をする際には競技に支障がないように配慮してください。競技に支障があると競技役員長が判断した場合は、競技規則に基づき厳正に対処します。
7. フラッシュを用いての写真撮影は禁止です。
8. ゴミは各自で責任を持って持ち帰り処理をして下さい。
9. 会場施設内の電源(コンセント)の使用は禁止します。
10. 競技中の疾患・傷害については応急処置のみ主催者で行いますが、その後は各自で処置をしてください。
11. 防犯上、貴重品の管理は各自で責任を持って行ってください。
12. 観覧席では座って応援をしてください。また、通路で立ち止まるとの応援はご遠慮下さい。

外国人留学生の大会参加について

1. 参加者は、学校教育法第1条に規定する高等学校に卒業を目的として入学している生徒であること。
2. 在籍校が、東京都高等学校体育連盟に加盟していること。
3. 19歳以下であること。
4. 短期留学生は認めない。
5. 人数は概ねエントリー数の10%前後を原則する。
6. 転校後6ヶ月未満のものは参加を認めない。
7. 上記に反した学校があった場合は、専門部がその状況を把握し、東京都高体連に報告をする。
なお、その処理は、東京都高体連基本問題検討委員会に委ねる。